

II ほし組(年中児)保育案

平成29年11月17日(金)

保育者 中津野春菜・鳩宿恵理香

男児20人 女児15人 計35人

本園研究テーマ

遊びの中で育まれる子どもの学び

～幼稚園教育要領改訂ポイントを踏まえた保育実践～

研究テーマに基づくほし組(年中児)の姿

互いの考えを伝え合い、イメージを共有して遊びを進める姿

1 幼児の実態

子どもたちは、自分の好きな遊びや好きな場所、遊びたい友達などがはっきりし始め、「一緒に遊ぼう。」「明日も続きをしようね。」などと、気の合う友達と誘い合っている。また、友達と一緒に遊ぶ中で、友達のよいところに気付き、真似をしたり、自分なりに取り入れたりしながら遊ぶ姿も見られる。

園庭では、ボールの投げ合いやサッカーごっこなどのボール遊びをしたり、友達と一緒にブランコや滑り台などの固定遊具で遊んだりしながら体を動かして遊ぶ楽しさを味わっている。また、かくれんぼや氷鬼などの遊びでは、目をつぶって数を数えたり、鬼にタッチされたら氷になって固まったりと、きまりのある遊びの面白さを味わい、きまりを守りながら遊ぼうとする姿も見られる。園庭に落ちていた落ち葉を拾い集めて秘密基地を飾り付けたり、落ち葉や木の実に絵の具できれいな色を付けてドレスをつくったり、落ち葉屋さんを開いたり、秋の自然に親しみながら遊びを進めている。

室内では、様々な素材を使った製作遊びを楽しんでいる。自分のイメージするものに近づけようと、素材の形や大きさにこだわって必要なものをそろえたり、友達や先生につくり方を相談したりしながら製作する姿が見られる。劇遊びでは、必要なものを考え、お面や衣装づくりから、更に看板やチケットづくりへとイメージを膨らませながら遊びを進め、友達とイメージを共有しながら遊ぶ楽しさを味わっている。また、どんぐりの街づくりでは、道路の描き方や建物を置く場所など、どんな街にしたいかを友達と一緒に考え、話し合いながら街づくりをしている。その中で、自分の考えを伝えたり、友達のアイデアを受け入れたりしながら、共通の目的に向かって友達と一緒に遊びを進める面白さを味わっている。

このように、いろいろなものと関わりながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを存分に味わい、友達とのつながりを深めながら、遊びを進めている子どもたちである。

2 研究の視点から

※ 幼稚園教育要領改訂のポイントである「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点から、本日の保育で見られると考えられる年中児の姿を下記に示した。

A 健康な心と体	B 自立心	C 協同性	D 道徳性・規範意識の芽生え
見通しをもって、自分のやりたい遊びをのびのびと楽しむ。	自分がやりたいことを最後までやり遂げようとする。	遊びのイメージを共有し、協力して遊びを進めようとする。	きまりを守る必要性に気付き、きまりを守って遊ぼうとする。
E 社会生活との関わり	F 思考力の芽生え	G 自然との関わり・生命尊重	
他のクラスの友達や先生と触れ合い、関わりを深める。	工夫したり、予想したりしながらいろいろな遊びを進め、自分の考えをよりよいものにしようとする。	木の実や落ち葉などの身近な自然に関心を持ち、遊びに取り入れる。	
H 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	I 言葉による伝え合い	J 豊かな感性と表現	
友達や椅子の数を数えたり、チケットをつくったりして、数量や文字などに親しむ。	自分の思いや考えを、自分なりの言葉で友達や先生に伝え、相手の話を注意して聞こうとする。	自分のイメージするものに合った素材を選んだり、友達と話し合っって製作したりする。	

3 IV期(11・12月)の保育について

ねらい

- 気の合う友達と関わり合っって、遊ぶ楽しさを感じる。
- 秋や初冬の自然に興味を持ち、自分の好きな遊びの中に取り入れる。

内容

- 自分なりに考えたり試したりしながら好きな遊びを存分に楽しむ。
- 遊びの全体イメージを持ち、遊びを進めようとする。
- 調べたり、観察したりして、本物に近づけられるようにつくろうとする。
- 前につくったものやしたことと比べて、その違いや変化に気付く。
- 友達と遊びのイメージを伝え合いながら、一緒に遊ぼうとする。
- 友達と遊びのルールを共有しながら遊ぼうとする。
- 落ち葉や木の実などの自然物を使って、秋から冬への季節の変化に気付きながら、いろいろな遊びを楽しむ。
- 野菜の世話やみかんの収穫、おやつの調理などを通して、いろいろな食事に興味・関心をもつ。

○ 当日の遊び

・ 予想される遊び (これまでの遊び)

教師の思い

8:45~9:05

登園

9:05~

好きな遊び

10:25~

片付け

降園準備

10:40

降園活動

・ 手遊び歌

・ 絵本の読み聞かせ

・ 振り返り

11:00

降園

★ 本日の保育について

ねらい

- 自分の思いや遊びのイメージを友達に伝えようとする。
- 落ち葉や木の実などの身近な自然にふれ、秋の自然に親しむ。

保育に当たって

- 自分のやりたい遊びを見つけて友達を誘い、関わりながら遊ぶ姿を見守り、教師も様子を見ながら仲間に入り、楽しさを共有できるようにする。
- 子ども同士で、自分の思いやイメージを友達に伝えながら遊ぶ姿を大切にしたい。うまく言葉にできない時や、相手に伝わらない時は、代わりに伝えたり、伝え方を知らせたりする。
- 秋の自然を遊びに取り入れようとする姿を大切に、子どもの驚きや発見に共感したり、見つけたことやものなどを周りの子どもたちにも知らせたりする。
- 子どものつくったものを見せたり、遊びの様子を紹介したりして、次の日の遊びにつながりがもてるようにする。

自然に親しむ G・F

- ・ 落ち葉に絵の具で好きな色を付ける。
- ・ 木の実や落ち葉を紙テープに貼って飾りをつくったり、カラーポリ袋に貼り付けて落ち葉の洋服をつくったりする。
- ・ 木の実や落ち葉を拾い集めて、友達や先生に見せたり、絵本と比べたりする。

見つけたものや気付いたことを友達や教師に伝えようとする姿を受け止め、一緒に秋の自然を楽しめるように、周りの友達にも知らせていこう。



体を動かす遊び A・D・C

- ・ 友達や先生を誘って、かくれんぼや氷鬼、だるまさんが転んだなどをする。
- ・ 譲り合ったり、順番を守ったりしながら固定遊具で遊ぶ。
- ・ ボールの投げ合いやサッカーごっこなどのボール遊びをする。

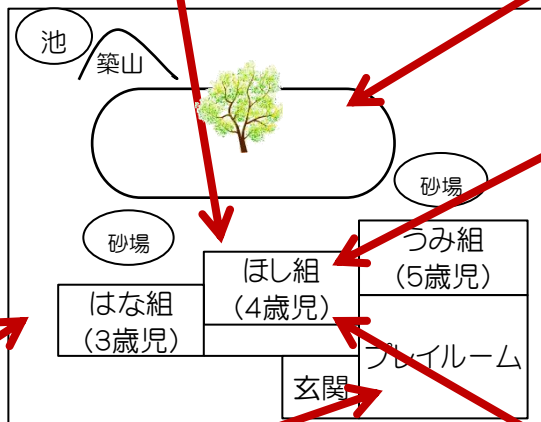
自分たちで遊びを進めようとする姿を認め、必要に応じてルールを確認し、共有できるように言葉を掛けよう。



ドングリの街づくり (製作遊び) B・J・H

- ・ 空き箱に模様を描いたり、切り込みを入れて窓をつくったりして建物をつくる。
- ・ 友達と話し合いながら、建物や道路の場所を決めて街をつくる。
- ・ 本物の街らしくするために、信号機をつくったり、止まれの表示を描いたりする。

自分なりのイメージをもってつくる姿を受け止め、一緒につくったり、更にイメージを広げられるような言葉を掛けたりしよう。



秘密基地ごっこ (ごっこ遊び) C・J

- ・ ブルーシートや段ボールを使って秘密基地をつくり、落ち葉などで飾り付ける。
- ・ 合い言葉を考えたり、料理を運んだりして、自分たちの空間を楽しむ。

役割分担したり、友達の様子を見たりしながら遊ぶ姿を認め、友達と協力しながら遊びを進めていく楽しさを味わえるようにしたい。



3匹の子ぶたと赤ずきんちゃん (ごっこ遊び) J・I

- ・ チケットや看板をつくって、劇遊びがあることを友達や先生に知らせ、お客さんを集める。
- ・ 椅子を並べたり、道具を揃えたりして場を整える。
- ・ 友達と息を合わせて台詞を言ったり、役になりきって演じたりする。

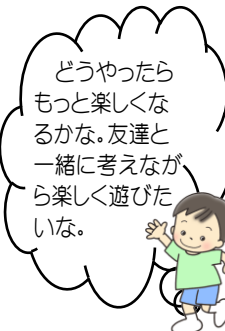
友達と共通の目的をもって遊びを進め、自分なりに工夫しながら表現しようとする姿を大切にしたい。



ごっこ遊び I・G・E

- ・ お寿司をつくったり、お客さんをもてなしたりして、お寿司屋さんごっこをする。
- ・ 砂と水で料理をつくったり、木の実や落ち葉などで飾り付けたりして、お料理ごっこをする。
- ・ 武器をつくり、役になりきってヒーローごっこをする。

自分の思いを友達に伝えながら、友達と共通のイメージをもって遊ぶ姿を見守り、必要に応じて言葉を補っていこう。



どうやったらもっと楽しくなるかな。友達と一緒に考えながら楽しく遊びたいな。